



# 徳成寺 寺とかわら版

第94号 2014年10月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

秋が深まって参りましたが、お元気でしょうか。

私たちが元気で過ごす上で、なくてはならないのは

人からの手助けがあるか、希望が持てているか、この二つです。

人からの手助けがないことを孤立と言います。

希望が持てないことを絶望と言います。

孤立と絶望を乗り越えるために、各地域で取り組んでおられる方々と

徳成寺は手を取り合って行きたいと思えます。

ぜひ共に歩んで参りましょう。10月号のかわら版をどうぞ。

\*子供向け教材「お坊さんといっしょ」をご希望の方は連絡して下さい。無料進呈中

-発行責任者-

住職

大山健児

坊守

大山ひとみ



## 徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記



どうも、長男です。

今回はキッチンのお話をしようと思います。

私は料理が趣味と実益を兼ねているところがありまして、食べるのも作るのも好きです。寮生活の時も何度か友人にご飯を作ったりすることがありました。

ただ、キッチンが狭かったのと、IHコンロと言うことで中々不便を強いられていたのですが、引越してキッチンが広くなり、ガスコンロになったので、中華鍋を導入してみました。たくさん作って小分けにして食べるのはもちろん、みんなでワイワイやる時も重宝します。また寮にいた頃のように友達を呼んで家呑みをしたいものです。合掌